

令和8年度「春の里山で身近な生き物を探そう！」

日 時 令和8年3月20日（金・祝） 午前9時30分から

行 程 東三河ふるさと公園御津側駐車場 → 憩いの広場 → 清流コース
→ 御津側駐車場にて解散

当日の様子



今回の「春の里山で身近な生き物を探そう！」は東三河ふるさと公園で開催しました。

当日は7人が参加して、東三河自然観察会の天野保幸先生達と東三河ふるさと公園に生息する動植物を観察しました。さっそく駐車場にてスギとヒノキの雄花・雌花を観察します。この季節花粉症の方は近寄りやすい樹木ですが、構造について説明を聞くと参加者は興味津々でした。

歩行者道を進むと、冬眠から覚めたばかりか、まだ動きの鈍いアマガエルが出迎えてくれました。憩いの広場へ向かう途中はサルスベリとレンギョウの開花が見事です。

山中の清流コースではシダ植物ウラジロを使った遊び「ウラジロバッタ」の紹介やアケビとミツバアケビの見分け方、ヒサカキの匂いについての解説がありました。

山道を抜け舗装道へ出た先では、遠目ではありますが桜の「エドヒガン」が見事に咲いていました。ソメイヨシノはこのエドヒガンとオオシマザクラとの交配によって誕生したとのこと。またテングチョウ、ビロードツリアブ、チュウレンジハバチなどの虫たちが春の訪れを感じさせてくれ、参加者を楽しませてくれました。

駐車場で戻った先では、天野保幸先生のメイン講師引退のご挨拶をいただきました。豊川市を含む東三河は多様な生物が生息する貴重な地域とのこと。平成25年度から約13年間ありがとうございました。



↑アマガエル



↑オオバヤシャブシの雄花を観察



↑ユキヤナギ



↑ヒメウズ



↑「ウラジロバッタ」に夢中



↑ツクシを探すこども達

観察した主な植物等

アカマツ、アケビ、アセビ、アラカシ、ウラジロ、エドヒガン、オオバヤシャブシ、カラスザンショウ、サンシュ、シイノミの実、スギ、スズメノヤリ、セイタカアワダチソウ、テイダマツ、ヌルデの実、ヒサカキ、ヒノキ、ヒメウズ、ヒメユズリハ、マキノスミレ、ミチタネツケバナ、ミツバアケビ、ミミズバイ、ヤマハゼの実、ヤマモモ、ユキヤナギ、レンギョウ 他

観察した主な動物

チュウレンジハバチ、テングチョウ、ニホンアマガエル、ヒシバッタ、ヒトリガの仲間、ビロードツリアブ、ヤマトゴキブリ 他

参加者の声（参加者アンケートより抜粋）

- ・見たことあるけどよく知らない植物の名前をしれたり、新たな発見があり楽しめました。
- ・色々な植物や生き物の名前などが知れて毎回勉強になります。

などのご意見をいただきました。